

CNA Report Japan

Newsletter focused on
Collaborative conferencing

Conferencing News & Analysis-- Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・Web 会議専門ニュースレター Vol. 6. No. 18 2004 年 11 月 15 日号 毎月 15 日・月末発行

創刊 1999 年 12 月 8 日 発行/編集:橋本啓介 k@cna.jp Copyright 2004 Kay Office All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■タンバーク、オールインワン型テレビ会議3新機種発表

タンバーク日本支社(東京都中央区)は、11 月 2 日新たにビジネスパーソナル向けのテレビ会議システム3機種を発表した。「TANDBERG 2000MXP」、「TANDBERG 1500MXP」、「TANDBERG 150」の3機種。



TANDBERG 2000MXP(写真左)は、小グループ・SOHO オフィス向けのオールインワン型システムで、設置面積が少なくてすみ車輪付きなので移動が簡単。暗号化機能(AES)、内蔵多地点接続機能

(MultiSite)、プレゼンテーション機能を持つ(DuoVideo)。PC モニターケーブルをつなぐだけで(PC Presenter)、または LAN 接続(PCSoftPresenter)を利用して PC 動画のプレゼンテーションが可能。

16:9 ワイドスクリーンの 23 インチ液晶画面、高音質スピーカー(MPEG-4 AAC-LD、CD レベルの高音質ステレオ(20Khz))を内蔵。カメラは、広範囲なズーム・パン・チルトが可能なワイドアングルカメラ。最大帯域は、IPで 2Mbps、ISDN では、512kbps(SIP レディ対応)に、また映像符号化 H.264 に対応しており、最大テレビ会議端末 4 拠点+3 音声拠点の多地点接続(MultiSite)が可能。トランスコーディングやレートマッチング機能、ネットワークが不安定でも会議セッションを続けることができるダウンスピーディング機能や IPLR 機能も搭載。無線 LAN 接続用の PC カードスロット付きのため無線 LAN 環境でもテレビ会議が行える。パソコンデータの送信受信に最適な XGA 送受信、Dual Stream をサポートすることによって、1画面にプレゼンテーション資料とプレゼンテーションを行う人を同時に見ることができる。(DuoVideo)



TANDBERG 1500MXP(写真上)は、役員室向けに最適。17 インチワイド液晶モニター、カメラ、マイクを内蔵した一体型システム。机の上に置いて使用することを想定しているため、PC モニターとしても使える。暗号化機能(AES)、多地点接続機能、プレゼンテーション機能を持つ。

TANDBERG 1500MXP の性能と機能は、ほぼ TANDBERG 2000MXP と同じだが、CD レベルの高音質

Large	Groups Medium	Small	Offices	Individual
8000 MXP	7000 MXP	6000 MXP	3000 MXP	2000 MXP
	Rollabout Codec Portable	Rollabout Codec Portable	1500 MXP	1000
	Maestro (MXP)	990 MXP 880 MXP 770 MXP	550	150

(20Khz)を、また映像については映像符号化方式 H.264 をサポートし、最大帯域は、IPで 2Mbps、ISDN では、512kbps (SIP 対応)、内蔵多地点接続機能を使って最大テレビ会議端末 4 拠点+3 音声拠点の多地点接続が可能。TANDBERG 2000MXP と同じく、トランスコーディングやレートマッチング機能、ネットワークが不安定でも会議セッションを続けることができるダウンスピーディング機能や IPLR 機能も搭載。無線 LAN 接続用の PC カードスロット付き。パソコンデータの送信受信に最適な XGA 送受信、Dual Stream をサポートすることによって、1画面にプレゼンテーション資料とプレゼンテーションを行う人を同時に見ることができる。



TANDBERG G150(写真左)は、個人のデスクトップ向け酔うに設計。サポート担当や SOHO などに最適。

4:3VGA 対応の 8.4 インチの液晶モニター、手動でティルト/フォーカスが可能なカメラ、マイク、キーパッド内蔵のオールインワン型。プライバシー保護用のヘッドセット及びハンドセットや受話器のオプションあり。シンプルなユーザーインターフェイスで、電話機感覚で使用できる。VoIP 音声及びテレビ会議が行える。ポータブルな設計のため軽量。

映像については、H.264 対応。使用ネットワークは、IP のみだが、512kbps まで帯域をサポート。内蔵暗号化機能 (AES)、Power Over Ethernet (LAN からの電源供給、IEEE 802.3af として標準化) 対応。Ethernet ポート 2 口持つ。

相手からのプレゼンテーションの表示も可能。たとえば、マイクロソフトのエクセルシートもきれいに画面に表示できる。

■ NTT アドバンステクノロジー、高性能音響エコーキャンセラー「RealTalk71」を発売



RealTalk 71

NTT アドバンステクノロジー(東京都新宿区)は、PC で行う Web 会議システムなどでハンズフリー通話を実現するノイズリダクション機能付き高性能音響エコーキャンセラー「RealTalk 71」の販売を 11 月 25 日より開始する。

同社では、すでにテレビ会議システムに適した「RealTalk 70」(昨年 9 月)、またステレオ音声用の「RealTalk 70ST」(今年4月)を販売しているが、近年の Web 会議システムにおけるエコーキャンセラー装置へのニーズをふまえ、小型化・低価格化を図ったのがこの、「RealTalk 71」になる。

「RealTalk 71」の特長としては、(1)NTT 研究所開発の高性能エコーキャンセラー技術及びノイズ・エコー抑圧技術
(次ページへ続く)

-----<AD>-----

<広告>



ここまで出来る！今注目の
ビジネス向け Web 会議
(CUSeeMe の進化版)

ファーストバーチャルコミュニケーションズ株式会社

<http://www.fvc.com>



<広告> MeetingPlaza + Qcam = Web 会議 NTTアイティ
ビジネスの速度と社内コミュニケーションを支える Web 会議には最適な製品を選びたいもの。NTT アイティの MeetingPlaza とロジケールの Qcam なら、確かな品質と実績で共にシェア No.1 を獲得。<MeetingPlaza -

2004 富士キメラ総研調べ、Qcam - 2003 BCN 調べ>Web 会議の導入をお考えなら、NTT アイティとロジケールにお任せください。

「MeetingPlaza + Qcam クリスマスキャンペーン 2004」
<http://qcam.meetingplaza.com/>

術を搭載。(2)騒がしいオフィス環境での使用でもエコーとノイズを抑えて快適な通話が可能。(3)AM ラジオと同等の7Khz 帯域で高品質、高臨場感の通話が可能。(4)送受信レベルがLEDで確認が可能。(5)複数のエコー消去特性や、ノイズリダクション機能の有無などを、利用者が選択可能。(6)ライン入力がなくマイク入力端子しか装備されていないノートPCにも接続可能。

販売価格は、税込み価格で136,500円。開発・販売は、同社メディアソリューション事業本部メディア応用事業ユニット エコーキャンセラ担当。

■ポリコム、バージョン 7.5 リリース、映像と音声の品質とデータ共有機能を向上

ポリコム(東京都千代田区)は、Polycom VSX シリーズの新しいソフトウェア Release 7.5 を発表した。Polycom VSX Release 7.5 ソフトウェアでは、Polycom V500 及び Polycom VSXシリーズ間でPCから高解像度コンテンツを送受信するためのソフトウェア・オプションである People+Content IP や、Polycom StereoSurround 機能の拡張、H. 264における映像エラー修正など、ビデオ会議の品質を向上するための新機能が提供されている。

新しいソフトウェア・アプリケーションである People+Content IP は遠隔地と高解像度コンテンツを送受信することができ、スライド、映像、アプリケーションなどPC上のあらゆるデータを扱うことができる。また、ビデオ会議中に音声のみの参加者がコンテンツを共有できるようにする機能も含まれる。People+Content IP オプションを利用することで、これまで受信のみ可能であった Polycom V500 及びVSX3000からもコンテンツを送信できるようになる。People+Content IP は、VSX7400、VSX7800、VSX8000 シリーズ全モデルに標準搭載されているが、V500、VSX3000、VSX7000 用にはオプションのソフトウェアライセンスが必要。

また、Polycom VSX ビデオ会議システムと SoundStation VTX 1000 ワイドバンド音声会議システムの統合によって、ダイヤル用のインターフェイスとして音声会議システムからビデオ会議を呼び出すことが可能。さらに、今回の Release 7.5 では、SoundStation VTX 1000 のマイクを使用してステレオ音声でのビデオ会議 (Polycom

StereoSurround)を実現する。(VSX7000とVSX8000システム使用時)

また、ポリコムは、H. 264を使用したビデオ会議向けの映像エラー修正機能を提供。ビデオ会議中のネットワークの混雑やパケットロスといった問題を解決し、ビデオ会議の品質を向上させることができる。

Polycom VSX Release 7.5 ソフトウェアと People+Content IP ソフトウェアは、2004年12月に提供開始予定。V500 及び VSX シリーズの Release 7.5 以降へのソフトウェアアップグレードは有償だが、製品保証期間内または保守契約期間内のシステムのソフトウェアアップグレードは無償。

■メディアプラス、Teleportec立体的等身大のテレビ会議システム用投影機販売



メディアプラス(東京都千代田区)は、テレビ会議システムのコーデック(例:タンバークなど)と、プロジェクター、投影スクリーンなどを組み合わせた、投影機「Teleportec V7 System」を今年の4月から販売している。

Teleportec は米企業で、Teleportec V7 System を使用することにより、テレビ会議により送られてくる相手の映像が、等身大に、且つ立体的に、さらにアイコンタクトが取れたかたちで表示ができる投影機。遠隔地の人をテレポーテーションさせ、実際にそこにいるように表示させる装置。

コーデック自体は、ユーザー準備となるが、投影機にはプロジェクターが内蔵され、鏡などと組み合わせたスクリーンが組み込まれている。テレビ会議コーデックから送信される映像をプロジェクターで発光することにより、その発光が鏡に反射してスクリーンに被写体が投影されるという仕組み



みになっている。

投影機自体の重さは、226.8kg で、使用時のサイズは、W1702 x H2165 x D1549、20W パワーアンプ2スピーカー内蔵。

企業セミナー、トレーニング、遠隔授業、インフォメーションデスク、企業内テレビ会議ミーティングなど多岐のアプリケーションでの利用が可能。(関連記事:CNAリポート・ジャパン Vol. 5 No.4 2003年2月28日号)

■ソフトバンクBB、遠隔モニタリングサービス「BB MONITOR」を開始

ソフトバンクBB(東京都中央区)は、遠隔モニタリングサービス「BB MONITOR」を10月20日より開始した。ブロードバンド回線を利用し、遠隔地にある店舗や事務所などの様子をリアルタイムで見ることができる。同サービスは、同社の法人向け光ファイバー回線、DSL回線利用者に対して提供。

機能としては、カメラのズーム、撮影方向の変更(パン・チルト)、複数拠点のモニター映像の入れ替え、分割表示などができる。また画像保存オプションサービスがあり、1G、2G、5Gと選択できる。初期費用は、1カメラ単位で9,800円(税抜)、月額費用2,280円、オプションサービスの画像保存サービスが、1Gで税抜き価格3,480円から。カメラレンタルは、1台につき7,260円。映像の閲覧者に対する認証IDとパスワード保護もある。

「BB MONITOR」サービスは、ソフトバンクBBとシステム・ケイ(北海道札幌市)が共同で開発したシステムを、ソフトバンクBBがブロードバンド回線と合わせて販売し、カメラ等の機器の設置及びオンサイト保守に関しては、都

築テクノサービス(東京都港区)が提供する。

■フランス Tixeo 社、3D アバターを使ったPC会議システム



WorkSpace3D(3D のオブジェクト(ヘリコプター)を共有作業している場面、上下左右 360 度回転させることができる)

フランスの Tixeo 社は、3Dのワークスペース上でアバターを使ったPC会議システム「WorkSpace3D」を今年の夏から販売している。同社は、WorkSpace3D の開発には3年を擁したという。同社セールスマネージャーの Sébastien Jeanjean 氏は、「この WorkSpace3D の開発販売のためにベンチャー会社を立ち上げた。」という。現在は、欧州北米などへの販売に力を入れているが、アジア方面でもパートナーがいれば是非提携したい考えだ。

CNAリポート・ジャパン編集長 橋本は、WorkSpace3D のデモに参加した。指定されたソフトウェアをダウンロードしてウェブカメラ、ヘッドセットを準備すれば WorkSpace3D はすぐ使えた。自分のアバターを選択し、ログイン画面からIDとパスワードを入力すると、3次元のワークスペース画面に出てくる。参加者間では映像や音声で会話するが、同時にワークスペース画面には自分のアバターが現れる。すでに他の参加者がいればその参加者のアバターがワークスペース画面に見える。基本的にアバターを操作してワークスペース内を移動したりして、パワーポイントや3DのCADで作成した資料の共有や共同作業を行う。

具体的な機能としては、スライドプレゼンテーション、ファイル共有、デスクトップ共有、アプリケーション共有、ホワイトボード共有、コーブラウジング、テキスト同時編集、3Dモ

デルビューアなどがある。

共有ファイルなどは3Dで共有されるが、編集や共同



ウェブブラウザ共有 (Jeanjean 氏と編集長橋本) 手前のアバターが橋本

作業の場合、タイプ入力がしづらいというのがあるため、たとえば共有されているテキストを2Dにして通常のパソコン操作でテキスト入力などが行える。

3Dモデルビューアは、CADで作成した3Dグラフィックオブジェクトをワークスペース上で共有することができ、それを180度回転させたり、ひっくりかえしたり、などが行える。3Dグラフィックオブジェクトを共有して作業するのは、「WorkSpace3D しかできなく、それ自体がWorkSpace3Dの強み。」(同 Sébastien Jeanjean 氏)

通常のウェブブラウザなどを共有してそこにマーキングしたりすることも出来る。(写真上) 共有しているブラウザやファイルはワークスペース上にいくつも置いておくことができ、必要に応じて作業が必要な共有ファイルなどの前にアバターを移動させて作業を行う。

アバターの操作は、基本的には、マウスの右左のクリックボタンで、上下左右を見回したり、ワークスペース内を移動したり、ジェスチャーをしたりすることができる。ワークスペースはいくつかのテンプレート(カスタマイズも可能)がある。見た目は、それはどこかの大きな部屋だったり、広場みたいなどころだったりする。「今後は顧客の要望にあわせてテンプレートは開発したい。」(同 Sébastien Jeanjean 氏)

映像コーデックは MPEG4 を、音声は標準化されたコーデックを使用しており、非常にきれいな映像と音声で、フランスと日本を接続してデモが行われた。ネットワーク

の状況にもよるが、DSL以上の接続があればストレスなく会議が行える。

ユーザーインターフェイスは、現在のところフランス語と英語のみ。暗号化セキュリティ、プロキシ、ファイヤーウォールなどは意識することなくこの WorkSpace3D を利用できる。

■WebEx、サンタクララにて投資家向けカンファレンス開催、出席者は今年の4倍

ウェブ会議サービスを提供する、米 WebEx 社は、11月10日米カリフォルニア州サンタクララにて投資家向けカンファレンス「WebEx Analyst Day」を開催(ウェスティンホテル)し、同社戦略的コミュニケーション担当副社長 Praful Shah 氏によると、昨年からのインベスターリレーション関係のカンファレンスを開催しているが、今年は今年の4倍になり、100名以上の機関投資家や金融アナリストなどが参加した。

それだけウォールストリート界や金融界から注目されてきているということだが、同社は、2004年の第三四半期で連続20四半期収益増を記録している。

WebEx は、今回のカンファレンスで、ウェブ会議市場では多数の競争があるなかで継続してマーケットのリーダーであったこと、それは、同社が自負するグローバルな MediaTone ネットワーク(同社がウェブ会議サービスを提供するプラットフォーム技術)、オンデマンドアプリケーションビジネスモデル(単なるホスティングサービスではない、ワークフローあるいはビジネスプロセスに最適化された付加価値の高いASPサービス)、経営力の3本柱が同社の強みと、CEO Subrah Iyar 氏はカンファレンスで力説。

また、カンファレンスでは、「WebEx イベントセンター」、「WebEx セールスセンター」の新機能などのデモ、BDO Seidman 社、EMC社、Ericsson社、Quintiles 社などがどのように生産性を上げ、コスト削減などを享受しているかのユーザー発表や、またパートナー発表では、KRM 社、SumTotal 社、ブリテッシュテレコム社、SalesForce.com 社などがそれぞれのサービスにどのように WebEx のサービスを組み込み、それにより顧客への付加価値をどのように上げているかという内容の発表が行われた。

現在 WebEx では、「WebEx ミーティングセンター」、「WebEx トレーニングセンター」、「WebEx イベントセンター」、

「WebEx サポートセンター」、「WebEx セールスセンター」（日本では未提供）、「WebEx エンタープライズ・エディション」の各種の、ワークフローに最適化されたサービスを提供しているが、企業のその他のワークフローに対するニーズに合った現在新たなサービス開発を検討しているようだ。会場ではメディカル向けという話もあったが、可能性の一つ（同 Praful Shah 氏）、現時点では未定とのこと。

【編集長橋本のコメント】

現在 WebEx 本社は、シスコシステムズの隣にあるが、近くの 10 階建て（階数は未確認）ぐらいのビルに近いうちに全部署機能が引っ越しをするようだ。（同 Praful Shah 氏）

そのビルの最上階の壁には、同社のロゴが見える。ちなみにそのとなりのビルには、サンマイクロシステムズが入っているビルが建っている。CNAリポート・ジャパン編集長橋本はそのビルが見える近くのホテルに泊まり今回のカンファレンスに参加した。

カンファレンス会場入口、また会場内の演壇のところには、WebExのコーポレートカラー（黄緑と青）を塗った人の顔の写真パネルが展示されていて強烈な印象として残っている。

■IPテレビ電話研究会発足

IT ジャーナリストの三田隆治氏、フリーキャスターの進藤晶子氏、金沢大学助教授の中川一史氏、カフエグロブ・ドット・コム代表取締役の矢野貴久子氏が中心になり、IPテレビ電話研究会が、NTT コミュニケーションの協力のもとに 11 月 2 日に発足した。

研究会の活動は 2005 年 1 月中旬までだが、テレビ電話に関する様々な意見を募り、テレビ電話の価値や魅力、可能性を考えていく。

そして、IPテレビ電話研究会のウェブサイトから情報発信と情報収集、またテレビ電話体験イベントの開催などを行っていく。同研究会のウェブサイトでは、各氏の日替りリレーコラム、テレビ電話おもしろ企画、テレビ電話のネーミングやキャッチフレーズ、シンボルの募集、週変わりアンケートなどがある。<http://tvphone.jp>

ショートニュース

◆ 日本電気（東京都港区）とフュージョン・コミュニケーションズ（東京都千代田区）は法人向けIP電話ソリューション分野で提携し、NECのSIP対応のIPテレフォニーサーバー「UNIVERGE SV7000」と、フュージョンのIP加入電話サービス「FUSION IP-Phone」の連携を実現し企業内のIP電話システムの強化を図る。実現される機能としては、「UNIVERGE SV7000」による、携帯電話、携帯情報端末（PDA）、無線IP電話、電話、電子メール、音声メールなどの統合によるモバイル、ユニファイドコミュニケーション、在席、通話中、外出中、会議中などどのプレゼンス情報の共有などの機能、そして「FUSION IP-Phone」による通話料が全国一律 8.4 円、加入者同士であれば無料となり通信コストを低減することが可能。

◆ NTT東日本（東京都新宿区）は、ブロードバンドユーザーでBFLET'S.Netによるテレビ電話機能を利用した、金融コンサルティングサービスのトライアルを実施する。本トライアルに参加するユーザーは、テレビ電機能を使って自宅に居ながらフィナンシャルプランナーの金融コンサルティングが受けられる。具体的には、ライフプラン・シュミレーション・ソフトウェアを利用したライフプラン設計に関するコンサルティングや銀行や証券会社、クレジットカードなど複数のオンライン口座を一括管理し、ネットで一覧表示できるアカウント・アグリゲーションサービスを利用した資産運用に関するコンサルティングなどになる。募集期間は、2004年11月9日から11月23日、トライアル実施期間は、2005年1月から1ヶ月間。

◆ 米ファースト・バーチャル・コミュニケーションズ社（FVC）のPC向けウェブ会議「ClickToMeet 4.1」と「Conference Server 7.3.100」が、IBMのロータスグループウェア、そしてマイクロソフトの「Microsoft Live Communications Server(LCS)」の連携についてサポートした。IBMのドミノディレクトリーから、またマイクロソフトのアウトLOOKやアクティブディレクトリー、Windows Messenger などから直接ClickToMeet会議の設定や予約、開始などが行える。

◆ 富士通は、IPテレビ電話のシステム開発用にVoIP制御、音声・動画処理、通信プロトコルといった基本機能を開発するための「IPテレビ電話向けSPDソフトウェアパッケージ」を2005年3月より販売を開始する。「IPテレビ電話向け

SPD ソフトウェアパッケージ」は、別途提供予定のFR-Vプロセッサ「MB92461」を搭載したリファレンスボード及び Linux OS と共に使用することにより、IPテレビ電話の開発用プラットフォームとして利用できる。特長としては、(1) IPテレビ電話に必要な基本機能をパッケージ化、(2) 組み替えが容易なソフトウェアモジュールを提供、(3) 機能追加や規格変更にも即時に対応。パッケージ販売価格は、350 万円。

◆ テレコムオーストリアは、同社の MultimediaStation 端末にイスラエルのテレビ会議メーカーVCON社のテレビ会議機能を搭載する。MultimediaStation 端末(500 型端末)は、コンピューター機能、フラットスクリーン、音声レンジャー、ウェブカメラなどを搭載したもので、同社のバーチャル・プライベート・ネットワーク(VPN)に接続し、インターネット閲覧、イベント情報、テレビ会議などを実現する端末。ISDN電話、ISDNテレビ会議、IPテレビ会議などが行える。後継機の800型 MultimediaStation 端末は、オーストリア全国に 2006 年設置される予定で、スロベニアやドイツにも同様な計画がある。テレコムオーストリアは、13,800 人の社員を擁する 39 億 EURO(約 5316 億円)企業。

◆ 英 VideoCentric 社、キャノンの USB 対応パン・チルト・ズーム対応の VC-C4-VC カメラと VCON のテレビ会議ソフトウェアを組み合わせたパッケージ製品を発表した。VCON のソフトウェアは、H.264 は 256kbps まで対応、H.263 は 1536kbps まで対応している。価格は 800 英ポンド(約 156,000 円)。

◆ イタリアの Dylogic 社は、H.323/SIP 対応のテレビ会議ソフトウェアのバージョン 4.1 を発表した。「Mirial 4.1」は、4CIF のビデオフォーマット、DVカメラ入力(IEEE-1394)、高解像度キャプチャリング、ビデオノイズフィルタリング、コール記録、マイクロソフト LCS サポート、kerberos と NTLM 認証などをサポートしている。ソフトウェアのフリートライアルが同社ウェブサイトからダウンロードできる。

イベント情報(URL は詳細情報)

■ Cisco Rich-Media Communications のご紹介 ～Cisco MeetingPlace による音声、ビデオ、Web の統合～

日時: 平成 16 年 11 月 24 日(水)13:30～16:00

主催: 日本ヒューレット・パッカード株式会社

共催: 丸紅テレコム株式会社

シスコシステムズ株式会社

場所: 日本HP市ヶ谷事業所

<http://h50146.www5.hp.com/events/seminars/oss/0411/12.html>

■ Collabomate & WebEx Web 会議サービス(TOCSR) コラボレーションセミナー

日時: 平成 16 年 11 月 25 日(木)13:30～17:00
(受付開始 13:00 より)

主催: 株式会社 NTT-ME

場所: 神保町三井ビルディング 11 階 NTT-ME プレゼンテーションルーム

<http://nttiivs.ntt-me.co.jp/seminar/2004/collabo1125/index.html>

■ 上位機種「PCS-G70N」および下位機種「PCS-TL50」の投入で更に強化されたソニーPCS シリーズを中心とする テレビ・ビデオ会議トータルソリューションセミナー

日時: 平成 16 年 11 月 26 日(金)13:30～17:20
(受付開始 13:00)

主催: 株式会社 NTT-ME

場所: 神保町三井ビルディング 11 階 NTT-ME プレゼンテーションルーム

<http://nttiivs.ntt-me.co.jp/seminar/2004/pcs1126/index.html>

■ IPnet最新ソリューションセミナー

～内部情報漏洩対策と TV 会議システム「Visual Nexus」のご提案～

日時: 2004 年 11 月 29 日(月) 13:30～16:10
(受付 13:00～)

主催: 株式会社アイピー・ネット

場所: 沖電気工業株式会社 虎ノ門ショールーム
東京都港区虎ノ門 1-7-12 新虎ノ門ビル(沖電気本社ビル)

<http://www.i-p-net.co.jp/event/index.htm>

編集後記

今回は発行が遅れまして申し訳ございませんでした。次号では、各社の業績発表などをレポート致します。数日前まで1年 10 ヶ月ぶりに風邪をひいてしまいダウンしてしまいました。風邪引かない記録を伸ばすのに頑張っていたのですが。風邪には気をつけましょう。

CNA リポート・ジャパン

編集長 橋本 啓介 k@cna.jp(CNA Report Vol 6. No.18 2004 年 11 月 15 日号終わり)次号 Vol 6. No.19 は、2004 年 12 月 2 日の発行を予定しております。ありがとうございました。